



2022年7月4日
株式会社 阿波銀行

株式会社広沢組の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社広沢組（代表取締役 廣澤 義典、本社：徳島県美馬郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社広沢組
所在地	徳島県美馬郡つるぎ町一字赤松 1317 番地 6
代表者	廣澤 義典
業種	土木工事業
設立	1968 年 7 月 22 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



株式会社広沢組 代表取締役 廣澤 義典

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	職場の安全衛生の向上	労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。	①(1)安全衛生マネジメントシステムの推進（リスク評価、目標設定、対策実施など） (2)安全衛生に関する研修（ヒヤリハット研修、禁煙教室）の実施	
			②(1)2025年度までに目標の合意・達成 (2)年 1 2 回実施	
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	①(1)従業員に対する、ポスター掲示や配布等による普及・啓発 (2)従業員参加型の環境保全活動の実施（地域の清掃活動や森林整備ボランティア等）	
			②(1)年 1 回実施 (2)年 2 回実施	
社会	事故・不祥事への対応	ステークホルダーの利益を守るため、社内で事故や不祥事を未然に防止するとともに、万一発生時の誠実な対応を心がけます。	①(1)危機管理体制の整備、対応フローの制定 (2)対応方法の社内共有 (3)社内事故・不祥事に関する研修の実施	
			②(1)2025年度までに検討した対応フローの社内通知 (2)2025年度までに社員全員に通知 (3)年 2 回実施	
環境・社会・経済	法令情報管理の徹底	業務に関わる新規法令の適用や法令の改正について、常に情報収集に努め、法令順守を徹底します。	①(1)最新の法令の改正・新規制定の情報収集 (2)法務・コンプライアンス担当の設置	
			②(1)年 1 回法改正を確認し、有効性を検討 (2)2025年度までに担当者1名選任	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。